

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月14日

【四半期会計期間】 第14期第2四半期
(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

【会社名】 株式会社スタートトゥデイ

【英訳名】 START TODAY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 前澤 友作

【本店の所在の場所】 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1

【電話番号】 043-213-5171(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 柳澤 孝旨

【最寄りの連絡場所】 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1

【電話番号】 043-213-5171(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 柳澤 孝旨

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第13期 第2四半期 連結累計期間	第14期 第2四半期 連結累計期間	第13期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(百万円)	10,243	13,773	23,801
経常利益	(百万円)	2,465	3,352	5,865
四半期(当期)純利益	(百万円)	1,363	2,105	3,103
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,361	2,082	3,101
純資産額	(百万円)	7,793	11,079	9,533
総資産額	(百万円)	13,473	19,146	16,233
1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	3,726.77	19.16	28.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	3,713.23	19.11	28.17
自己資本比率	(%)	57.8	56.7	58.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	1,323	1,737	3,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	221	773	586
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	462	534	462
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	7,792	10,430	10,039

回次		第13期 第2四半期 連結会計期間	第14期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	2,049.66	8.54

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第13期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 当社は平成23年2月1日付けで普通株式1株につき普通株式300株の割合で株式分割を行っております。

2 【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、前連結会計年度末においてはEC事業のみの単一セグメントでありましたが、当第2四半期連結累計期間において、(株)クラウンジュエルを完全子会社化したことに伴い、同社が運営するオークション事業を新たに報告セグメントといたしました。

当第2四半期連結累計期間における、各区分に係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、概ね次のとおりであります。

（EC事業関連）

事業の内容について重要な変更はありません。なお、中国においてEC事業を展開するため中国香港にZUZOTOWN HONGKONG CO., LIMITEDを、中国上海に走走城（上海）電子商務有限公司を設立し、連結の範囲に含めております。

[主な関係会社の異動] 新規設立：ZUZOTOWN HONGKONG CO., LIMITED
走走城（上海）電子商務有限公司

（オークション事業関連）

当第2四半期連結累計期間に(株)クラウンジュエルを完全子会社化したことに伴い、同社が運営するオークション事業を新たに報告セグメントといたしました。当該オークションセグメントでは、顧客から買い取ったアパレル商材をオークションサイト「CROWN JEWEL」に出品し、別の顧客に販売する事業を展開しております。

[主な関係会社の異動] 株式追加取得による新規連結：(株)クラウンジュエル

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による影響が徐々に解消しつつあり、回復基調が見られた一方で、ギリシャの債務問題を発端とした欧州の金融危機、それに伴う過度な円高の進行など国際経済の変調の影響を受け、依然として景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。当社グループが軸足をおきますアパレル業界におきましても、景気や雇用への不安から消費者の生活防衛意識が高まり、購買心理は低迷を続けており、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き主要事業であるEC事業に注力し、「ZOZOTOWN」等のECサイトの認知度と顧客サービスの向上に努めてまいりました。具体的には、CFM（Customer Friendship Management：企業とお客様が友達のように）という目標を掲げ、返品受け付けの開始、ポイント還元率のアップ（1%から3%）等のさまざまな取り組みを行ってまいりました。加えて、お客様に最適なサービスを提供するため、1 to 1マーケティングを強化しており、お客様それぞれのライフサイクル、誕生日や入会日等のイベントに基づき最適化された多岐にわたるパーソナライズドメールを日々配信しております。その結果、メルマガ開封率及びメルマガからの購入率が向上いたしました。また、セール時期にはテレビコマーシャル等の広告宣伝を積極的に行っており、サイト認知度の向上、新規会員の獲得に大きく寄与いたしました。

一方、商品供給面の強化も継続して積極的に行っており、「GLOBAL WORK」「Columbia」「CECIL McBEE」等、カジュアル系、アウトドア系、ギャル系とバラエティに富んだテイストの83ショップが新たにオープンし、第2四半期連結累計期間としては過去最多の出店数となりました。これにより、平成23年9月末時点の総ショップ数は、「ZOZOTOWN」「ZOZOVILLA」と合わせて321ショップとなり、幅広い年齢、趣向のお客様のニーズに応えられるようになっております。なお、「ZOZOTOWN」オリジナルセレクトショップに関しましては、取扱商材のテイストごとに再編を行い、すべてのショップ名を、「ZOZO」を冠したものに變更し、「ZOZOTOWN」オリジナルセレクトショップとしての独自性を強めております。

また、平成23年9月末時点の「ZOZOTOWN」の会員数は3,698千人（前連結会計年度末比565千人増）、アクティブ会員（注1）数は1,515千人（同298千人増）となっております。なお、会員数及びアクティブ会員数には、平成23年6月より開始したゲスト購入制度（注2）を利用して、会員登録を行わずに商品を購入したゲスト購入者126千人が含まれております。

メーカー自社EC支援事業におきましては、既に支援しておりました14社に加えて、「ZOZOTOWN」においても人気のブランドである「nano・universe」「AMERICAN RAG CIE」「TOMMY HILFIGER」等5社の自社ECサイト支援業務を新規に獲得することができました。

海外展開におきましては、平成23年5月に海外顧客向けのグローバルサイト「ZOZOTOWN.com」を開設するとともに、平成23年6月には中国香港にZOZOTOWN HONGKONG CO., LIMITEDを設立、その後平成23年8月には中国上海に走走城（上海）電子商務有限公司を設立し、その動きを本格化させております。

さらに国内事業におきましては、持分法適用関連会社であった(株)クラウンジュエルの株式を平成23年6月に追加取得し完全子会社としており、事業、収益モデルの多角化へ積極的に取り組んでおります。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,773百万円(前年同期比34.5%増)、営業利益は3,366百万円(同36.4%増)、経常利益は3,352百万円(同36.0%増)、四半期純利益は2,105百万円(同54.4%増)となりました。

(注1) アクティブ会員：過去1年以内に1回以上購入した会員

(注2) ゲスト購入制度：会員登録を行わずに商品が購入できるサービス

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高、営業利益はセグメント間取引消去前の数値を表示しております。

EC事業

EC事業セグメントにおきましては、ECサイト「ZOZOTOWN」の運営及びアパレルメーカー自社EC支援事業を行っております。当第2四半期連結累計期間におきましては、ストア運営管理事業の商品取扱高(EC事業セグメントにおける販売価格ベースの取扱高)が前年同期比56.7%増と高い伸び率で成長を続けており、売上高は13,601百万円(前年同期比32.8%増)、営業利益は3,417百万円(同38.5%増)となりました。

(ストア企画開発事業)

平成23年9月末現在、ストア企画開発事業では「ZOZOTOWN」内の41ショップを運営しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,808百万円と前年同期比254百万円の増収(前年同期比4.6%増)、売上高全体に占める割合は42.2%(前年同期54.2%)となりました。また、同期間における商品取扱高は、商品売上高と同額となりますが、商品取扱高全体に占める割合は17.0%(前年同期23.8%)となりました。

(ストア運営管理事業)

平成23年9月末現在、ストア運営管理事業では「ZOZOTOWN」内の280ショップを運営しており、当第2四半期連結累計期間の売上高(受託販売手数料)は6,772百万円と前年同期比2,686百万円の増収(前年同期比65.7%増)、売上高全体に占める割合は49.2%(前年同期39.9%)となりました。また、同期間における商品取扱高は25,384百万円と前年同期比9,184百万円の増加(前年同期比56.7%増)、商品取扱高全体に占める割合は74.4%(前年同期69.3%)となりました。

(メーカー自社EC支援事業)

平成23年9月末現在、メーカー自社EC支援事業では19社のECサイトを受託・運営しており、当第2四半期連結累計期間の売上高(受託販売手数料)は779百万円と前年同期比371百万円の増収(前年同期比91.0%増)、売上高全体に占める割合は5.7%(前年同期4.0%)となりました。また、同期間における商品取扱高は2,949百万円と前年同期比1,327百万円の増加(前年同期比81.9%増)、商品取扱高全体に占める割合は8.6%(前年同期6.9%)となりました。

(その他の事業)

その他の売上として、「ZOZONAVI」掲載ショップの特集ページ掲載サービス等からなるメディア事業、提携カードである「ZOZOCARD」でのキャッシング収入及び当社サイト以外でのショッピングに関する手数料を受領するカード事業並びに各ブランドがテナント出店する際の初期出店料及びメーカー自社EC支援事業に係るWEBページ製作業務料等があります。当連結会計年度におけるその他の売上高は241百万円と前年同期比46百万円の増収(前年同期比23.6%増)、売上高全体に占める割合は1.8%(前年同期1.9%)となっております。

オークション事業

オークション事業セグメントにおきましては、オークションサイト「CROWN JEWEL」を運営しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は、168百万円となっております。

その他

その他のセグメントにおきましては、アパレル商材の企画、販売事業を運営しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は、5百万円となっております。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,133百万円増加（前年同期比14.3%増）し、17,030百万円となりました。主な増加要因としては、現金及び預金の増加額890百万円、売掛金の増加額1,259百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ779百万円増加（同58.3%増）し、2,115百万円となりました。主な増加要因としては、工具、器具及び備品の増加額120百万円、のれんの増加額716百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて17.9%増加し、19,146百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,306百万円増加（前年同期比21.0%増）し、7,541百万円となりました。主な増加要因としては、受託販売預り金の増加額1,059百万円、買掛金の増加額181百万円、未払金の増加額132百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ60百万円増加（同12.9%増）し、524百万円となりました。主な増加要因としては、退職給付引当金の増加額67百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて20.4%増加し8,066百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,545百万円増加（前年同期比16.2%増）し、11,079百万円となりました。主な増減要因としては、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加額2,105百万円、少数株主持分の増加額218百万円、剰余金の配当による減少額768百万円などによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末から390百万円増加し、10,430百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,737百万円（前年同期は1,323百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益3,555百万円の計上に加え、受託販売預り金の増加額1,059百万円等の増加要因があったこと、一方、主な減少要因としては売上債権の増加額1,177百万円及び法人税等の支払額1,749百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は773百万円（前年同期は221百万円の支出）となりました。これは有形固定資産の取得による支出169百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出531百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は534百万円（前年同期は462百万円の支出）となりました。これは、少数株主からの払込みによる収入232百万円、配当金の支払額767百万円があったこと等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 従業員数

連結会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数は、業容の拡大及び㈱クラウンジュエルの完全子会社化に伴い、EC事業において60名、オークション事業において25名増加しております。

提出会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、当社の従業員数は、業容の拡大に伴い、EC事業において52名増加しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	429,120,000
計	429,120,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	109,863,900	109,863,900	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株で あります。
計	109,863,900	109,863,900	-	-

(注) 1 提出日現在発行数には、平成23年11月1日から本四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

2 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 (注)	2,700	109,863,900	59	1,359,282	58	1,327,471

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
前澤友作	千葉県千葉市美浜区	58,950,300	53.66
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ フィデリティ ファンズ (常任代理人) 香港上海銀行東京支店	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT UK 東京都中央区日本橋3丁目11番1号	4,057,200	3.69
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント (常任代理人) ゴールドマン・サックス証券(株)	200 WEST STREET NEW YORK, NY, USA 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー	2,930,117	2.67
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口) 取締役社長 松田雄司	東京都港区浜松町2丁目11番3号	(注)1 2,797,500	2.55
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人) 香港上海銀行東京支店	P. O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A 東京都中央区日本橋3丁目11番1号	2,767,970	2.52
ジェイピー モルガン クリアリング コープセク (常任代理人) シティバンク銀行(株)	THREE CHASE METROTECH CENTER, BROOKLYN, NEW YORK 11245, U.S.A. 東京都品川区東品川2丁目3番14号	2,579,415	2.35
山田潤	千葉県千葉市美浜区	2,205,300	2.01
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口) 取締役社長 小田一穂	東京都中央区晴海1丁目8番11号	(注)1 2,139,000	1.95
ジェイピー モルガン チェース オッペンハイマー ジャスデック レンディング アカウ ント (常任代理人) (株)三菱東京UFJ銀行	6803 S. TUCSON WAY CENTENNIAL, CO 80112, U.S.A 千代田区丸の内2丁目7番1号	1,500,000	1.37
ビービーエイチ オッペンハイマー グローバル オポチュニティーズ ファンド (常任代理人) (株)三菱東京UFJ銀行	6803 S. TUCSON WAY CENTENNIAL COLORADO 80112392403 U.S.A 千代田区丸の内2丁目7番1号	1,500,000	1.37
計		81,426,802	74.12

(注)1 すべて信託業務に係るものであります。

- 2 フィデリティ投信株式会社及びその共同保有であるエフエムアールエルエルシー(FMR LLC) から平成23年9月8日付で提出された大量保有報告書(変更報告書)により、平成23年9月30日現在で以下の株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期連結会計期間末時点における所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含まれておりません。なお、大量保有報告書及び変更報告書の内容は以下のとおりです。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
フィデリティ投信株式会社	東京都港区虎ノ門4丁目3番1号 城山トラストタワー	2,584,900	2.35
エフエムアールエルエルシー (FMR LLC)	米国 02109 マサチューセッツ州ボストン、デヴォンシャー・ストリート82	9,676,800	8.81
計		12,261,700	11.16

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 109,857,400	1,098,574	
単元未満株式	普通株式 6,500		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	109,863,900		
総株主の議決権		1,098,574	

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
計					

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,539,926	10,430,599
売掛金	3,180,863	4,440,482
有価証券	500,000	-
商品	1,071,428	1,355,528
その他	604,725	803,819
流動資産合計	14,896,943	17,030,429
固定資産		
有形固定資産	523,315	663,473
無形固定資産		
のれん	-	716,549
その他	257,447	214,720
無形固定資産合計	257,447	931,269
投資その他の資産	555,759	521,137
固定資産合計	1,336,522	2,115,880
資産合計	16,233,465	19,146,309
負債の部		
流動負債		
買掛金	577,958	759,363
受託販売預り金	2,655,950	3,715,721
未払法人税等	1,776,216	1,589,113
賞与引当金	97,698	119,492
ポイント引当金	396,284	571,834
その他	730,814	786,359
流動負債合計	6,234,922	7,541,885
固定負債		
退職給付引当金	225,200	293,089
役員退職慰労引当金	137,207	-
資産除去債務	102,442	114,178
その他	-	117,649
固定負債合計	464,849	524,916
負債合計	6,699,772	8,066,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,358,693	1,359,282
資本剰余金	1,326,890	1,327,471
利益剰余金	6,849,700	8,185,938
株主資本合計	9,535,284	10,872,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,320	1,629
為替換算調整勘定	-	12,880
その他の包括利益累計額合計	3,320	14,510
新株予約権	1,729	2,953
少数株主持分	-	218,371
純資産合計	9,533,693	11,079,507
負債純資産合計	16,233,465	19,146,309

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,243,812	13,773,182
売上原価	3,628,138	3,648,986
売上総利益	6,615,674	10,124,195
販売費及び一般管理費	4,147,422	6,757,357
営業利益	2,468,251	3,366,837
営業外収益		
受取利息	5,615	4,547
受取配当金	489	310
その他	1,938	1,871
営業外収益合計	8,044	6,729
営業外費用		
為替差損	7,812	14,233
持分法による投資損失	2,854	6,653
営業外費用合計	10,666	20,887
経常利益	2,465,629	3,352,679
特別利益		
投資有価証券売却益	-	5,443
段階取得に係る差益	-	207,631
特別利益合計	-	213,074
特別損失		
固定資産除売却損	60,859	10,371
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,440	-
特別損失合計	83,299	10,371
税金等調整前四半期純利益	2,382,329	3,555,383
法人税、住民税及び事業税	1,096,875	1,562,700
法人税等調整額	78,090	112,248
法人税等合計	1,018,785	1,450,451
少数株主損益調整前四半期純利益	1,363,543	2,104,931
少数株主損失()	-	108
四半期純利益	1,363,543	2,105,039

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,363,543	2,104,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,919	1,690
為替換算調整勘定	-	24,423
その他の包括利益合計	1,919	22,733
四半期包括利益	1,361,624	2,082,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,361,624	2,093,849
少数株主に係る四半期包括利益	-	11,651

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,382,329	3,555,383
減価償却費	64,610	116,029
のれん償却額	-	37,713
固定資産除売却損益(は益)	60,859	10,371
段階取得に係る差損益(は益)	-	207,631
賞与引当金の増減額(は減少)	2,705	21,793
ポイント引当金の増減額(は減少)	56,462	172,018
退職給付引当金の増減額(は減少)	25,859	67,889
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	11,633	137,207
受取利息及び受取配当金	6,105	4,857
為替差損益(は益)	7,720	14,233
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,440	-
売上債権の増減額(は増加)	138,361	1,177,667
たな卸資産の増減額(は増加)	47,373	222,367
仕入債務の増減額(は減少)	29,681	114,204
受託販売預り金の増減額(は減少)	144,528	1,059,771
未払金の増減額(は減少)	106,914	106,060
未払消費税等の増減額(は減少)	22,697	105,158
その他	84,582	61,412
小計	2,343,433	3,481,990
利息及び配当金の受取額	5,983	4,722
法人税等の支払額	1,025,524	1,749,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,323,892	1,737,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	97,671	169,114
無形固定資産の取得による支出	25,083	43,868
関係会社株式の取得による支出	95,150	-
投資有価証券の取得による支出	-	50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	531,365
その他	3,468	21,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	221,373	773,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	624	351
配当金の支払額	463,249	767,032
少数株主からの払込みによる収入	-	232,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	462,625	534,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,720	38,764
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	632,172	390,672
現金及び現金同等物の期首残高	7,160,047	10,039,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,792,220	10,430,599

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	第1四半期連結会計期間より、新たに設立したZUZOTOWN HONGKONG CO., LIMITED及び株式を追加取得し完全子会社化した(株)クラウンジュエルを連結の範囲に含めております。 当第2四半期連結会計期間より、新たに設立した走走城(上海)電子商務有限公司を連結の範囲に含めております。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	第1四半期連結会計期間より、株式を追加取得し完全子会社化した(株)クラウンジュエルを連結の範囲に含めたため、持分法適用の範囲より除外しております。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
賞与引当金繰入額	94,732千円	118,292千円
退職給付費用	34,342千円	82,001千円
役員退職慰労引当金繰入額	11,633千円	5,475千円
ポイント販売促進費	274,769千円	1,124,012千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金	7,292,220千円	10,430,599千円
有価証券	500,000千円	千円
現金及び現金同等物	7,792,220千円	10,430,599千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月26日 定時株主総会	普通株式	464,530	1,270	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月26日 定時株主総会	普通株式	768,801	7	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)
当社グループは、EC事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	EC事業	オークション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,598,790	168,951	13,767,742	5,440	13,773,182		13,773,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,625		2,625		2,625	2,625	
計	13,601,416	168,951	13,770,367	5,440	13,775,807	2,625	13,773,182
セグメント利益 又は損失()	3,417,586	7,942	3,409,643	5,285	3,404,357	37,520	3,366,837

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)クラウンジュエルの完全子会社である(株)シアターエイトが運営するアパレル商材の企画・販売事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額 37,520千円には、セグメント間取引消去150千円、のれん償却額 37,713千円、棚卸資産の調整額42千円が含まれております。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは前連結会計年度末においては「EC事業」のみの単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間に(株)クラウンジュエルを完全子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間から、同社が運営する「オークション」事業を新たに報告セグメントといたしました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

オークション事業セグメントにおいて、持分法適用関連会社であった(株)クラウンジュエルの株式追加取得を行い、完全子会社化し連結の範囲に含めております。これに伴い「オークション事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては754,262千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	3,726円77銭	19円16銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,363,543	2,105,039
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,363,543	2,105,039
普通株式の期中平均株式数(株)	365,878	109,856,980
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	3,713円23銭	19円11銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	1,334	308,750
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、平成23年2月1日付で普通株式1株につき普通株式300株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における前第2四半期連結累計期間の(1株当たり情報)の各数値は以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額	12円42銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	12円38銭

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

株式会社スタートトゥデイ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 浅野 俊治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 俊哉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スタートトゥデイの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スタートトゥデイ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。